

はじめに

平成 29 年度は設立からちょうど 5 周年の節目であると共に、変化の年であった。というのも 10 月の市民フェスティバルは例年通り行い、11 月の伊達市での開催は新たに伊達市多職種勉強会との共催という形をとれたものの、8 月以降は、それまで毎月行っていた定例会を一旦休止したからである。休止した理由は、設立当初からの幹事の入れ替え、運営方法や方向性を見直しなど様々であるが、何はともあれ毎月の開催を楽しみにしていた皆さまに対しては、この場を借りてお詫び申し上げたい。

ただ当会の持続可能性を考えると、一旦立ち止まり、今までのやり方を見直す機会を持たたことを前向きに考えている。またそのプロセスの中で、改めて当会の良さ、他の勉強会との差別化、地域の状況など、初心に戻って会のあり方を運営委員・幹事の皆さんと話し合い、再考できたのは大きな収穫であった。

当然だが、5 年前と周囲を取り巻く状況は大きく変化している。医療介護連携が各自治体で進められ、地域包括ケアシステムが小さなコミュニティで展開されることが具体的に動き出した。また西胆振という大きな地域を考えると、地域医療構想が一つの柱となるであろう。そのような中で、当然「西胆振」「在宅ケア」を旗印に掲げる当会のあり方も、変わっていくのは必然ではないだろうか。一方で変えないことも大事にしたい。在宅ケアに携わる多様な専門職同士が集まり、顔をつき合わせ、互いに学び、対話を重ねて連携を深めること。そしてそれを地域へ発信することである。

変わるべきもの、そして大事にしたいもの。この 2 つを持ちつつ、次の 5 年を皆さんと一緒に歩いていければと思っている。

西いぶり在宅ケア連絡会
会長 草場 鉄周
副会長 佐藤 弘太郎

月	形式(参加実績)	テーマ・内容
4月	講演・グループディスカッション (71名) 室蘭 ※1	「介護施設での看取りとこれからの展望」 少子超高齢化社会を向かえ、病床も削減の方向に向かっています。しかし病床を減らせても、自宅や地域の介護施設でどこまで患者を受け入れられるかは不透明な状態にあり、このままでは看取り難民も増加しかねません。この現状に対し、人生を自分らしく生き抜く為の「終の棲家」としての施設が、地域と連携しより良い看取りを実施していけるよう、又、介護職員への教育や待遇、報酬についても検討していくきっかけにしたいと考えています。
5月	講演・グループワーク (62名) 室蘭 ※2	「栄養の視点から関わりを考える」 高齢者の方々と関わる上で、身体などの部分について考える機会が多いが、栄養の視点から見えていくことが少ない傾向にある。今回は、栄養の重要性を改めて学び、栄養の視点から、高齢者との関わり方についてグループワークを行う。
6月	講演・グループワーク (51名) 室蘭 ※3	「おいしく食べられる口作り～おいしく・楽しく・美しく～」 栄養・口腔ケアシリーズ2回目。物を美味しく食べ続けるには、摂食・嚥下障害・口腔ケアについての講演から必要性を見つめ直し、実際に実技を通して理解と重要性を深める。
7月	講演・グループワーク (41名) 室蘭 ※4	「日本人はなぜお風呂にこだわる」 栄養・口腔ケアシリーズ2回目。物を美味しく食べ続けるには、摂食・嚥下障害・口腔ケアについての講演から必要性を見つめ直し、実際に実技を通して理解と重要性を深める。
10月	市民フォーラム 室蘭(モルエ室蘭) 一般市民110名程度 (アンケート回答者52名)※5	西いぶり在宅ケアフェスティバル 私たちは学びながら地域の在宅ケアを推進してゆくことを目的とした団体です。この度、在宅ケアについて一般市民の皆様幅広く知って頂く機会として『楽しみながら』『誰でも』『気軽に参加できる』内容でのフェスティバルを企画しました。皆さんとともに知識を学び、理解を広めたいと考えております。どうぞお気軽にご参加ください！
11月	グループワーク (70名) 伊達 ※6	「多職種の協力と細やかな連携」 介護力の不足と不安を乗り越えて最後まで在宅支援できたケースについて事例検討を行います。末期がんの患者の対応は刻一刻と変化するため様々なサービスの選択が迫られます。ご自宅で最期まで暮らしたいという本人の希望を叶えるため、皆さんが専門職として何が出来るか、またどうしたらよいか、多職種で話し合しましょう。

※1 講師:西いぶり在宅ケア連絡会会長 草場 鉄周

※2 講師:社会福祉法人 室蘭天照福祉会 経費老人ホーム泉寿園 原田 雅彦 氏

※3 講師:御前水歯科クリニック 岩川 直義 院長
伊藤歯科医院 伊藤 百香 氏

※4 講師:(株)アースサポート 北日本営業グループ 村上 栄子 氏

※5 助成:公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

※6 共催:西いぶり在宅ケア連絡会・伊達市多職種勉強会

平成29年度 定例会 職種別 参加者数

※10月の在宅ケアフェスティバルは除外

ラベル	職種	4月	5月	6月	7月	11月	延べ
1	①. 医師	1		1	1	1	4
2	②. 歯科医師	1	2	2		1	6
3	③. 保健師	5	3	1	2	3	14
4	④. 看護師	9	3	4	1	4	21
5	⑤. ケアマネジャー	12	8	3	3	16	42
6	⑥. 社会福祉士	4	8	2	2	2	18
7	⑦. 栄養士	1	7	3	2	4	17
8	⑧. PT	5	5	3	2	3	18
9	⑨. OT	1	3	1	3	1	9
10	⑩. ST	2	2	2		0	6
11	⑪. MSW	4	3	1	3	1	12
12	⑫. PSW					0	0
13	⑬. 薬剤師	9	11	16	5	13	54
14	⑭. 歯科衛生士	1	1	8	2	1	13
15	⑮. 介護福祉士	9	2	1	8	5	25
16	⑯. ヘルパー	2				1	3
17	⑰. 生活相談員	2				5	7
18	⑱. 柔道整復師					0	0
19	⑲. 福祉用具					1	1
20	⑳. 医事関係者	1				1	2
21	㉑. その他()	2	4	3	7	7	23
合計		71	62	51	41	70	295

第55回 西いぶり在宅ケア連絡会

テーマ

「介護施設での看取りとこれからの展望」

日時:4月17日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:500円(軽食代含む)

<内容>

18:30~ 開会・連絡会説明・参加者自己紹介

18:45~ 講演「介護施設におけるこれからの展望」

・西いぶり在宅ケア連絡会 会長 草場 鉄周

19:15~ 「実践報告」

・地域密着型特別養護老人ホームふなみの杜 波方 元希 氏

・医療法人社団グループホームしづく 洲崎 美恵子 氏

19:50~ グループディスカッション

20:20~ 全体発表、総括、アンケート・意見回収

20:30 閉会

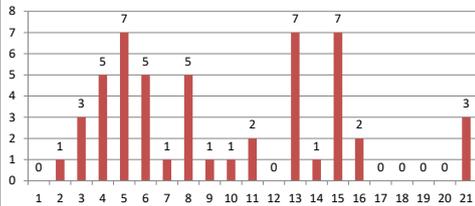
今月のポイント!

少子超高齢化社会を向かえ、病床も削減の方向に向かっています。しかし病床を減らせても、自宅や地域の介護施設でどこまで患者を受け入れられるかは不透明な状態にあり、このままでは看取り難民も増加しかねません。この現状に対し、人生を自分らしく生きぬく為の「終の棲家」としての施設が、地域と連携しより良い看取りを実施していけるよう、又、介護職員への教育や待遇、報酬についても検討をしていくきっかけにしたいと考えています。

【後援団体】

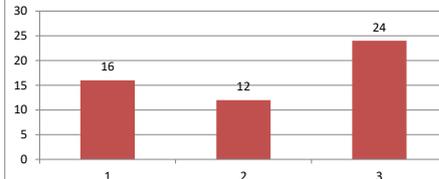
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

1参加された方は(複数回答可)



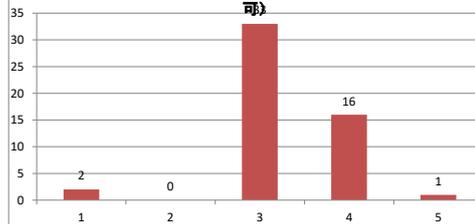
- ①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫. PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談員 ⑱. 柔道整復師 ⑲. 福祉用具 ⑳. 医事関係者 ㉑. その他

2今回は何回目の定例会参加になるでしょうか?



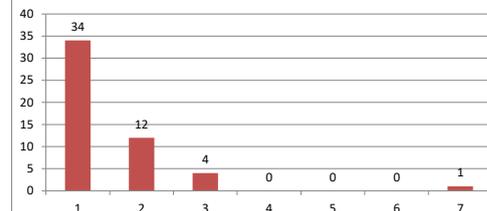
- ①. 初めての参加 ②. 2~5回目位 ③. それ以上

3在宅ケア連絡会をどのように知りましたか(複数回答可)



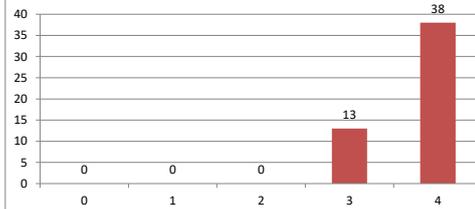
- ①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場
④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他()

4今日はどちらからきましたか?



- ①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 壮瞥町
⑥. 豊浦町 ⑦. その他()

5全体のテーマ設定について

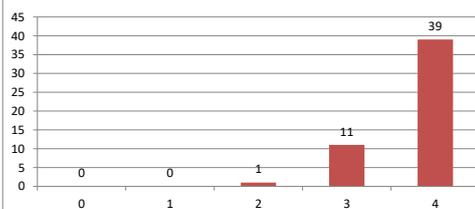


悪い0 ⇒ 4良い

5全体のテーマ設定について(コメント)

- ・在宅での看取りで他職種との連携が大切だと思いました。
- ・看取りケアを学ぶ場が少ないので学べて良かった。
- ・今後の日本のテーマになっている。老健でも看取りが必要なケースがあるとされる。とても良い勉強になりました。
- ・今、看取りの方がいるので、どうしたらいいのか、どうなるのかという事を学べて良かった。
- ・今後求められる部分であると思うので実際の話が聞けてとても良かったです。
- ・今取り組もうとしている内容なので
- ・看取りについて多職種の人々の考え方を学ぶ事ができた。
- ・看取りは初めて経験し興味のあるテーマでした。
- ・前座が全体テーマから外れてた?

6事例提示・実技の内容について



悪い0 ⇒ 4良い

6講演の内容について(コメント)

- ・看取り実践話が聞けて具体的なkとが見れて良かった。
- ・貴重なお話が聞くことができました。
- ・施設での試行錯誤しているケアの現状がよくわかりました。
- ・口で食べることの大切さ、口腔ケアの大切さを学んだ。
- ・看取りは、事例をこなしていけばより良い介護、心がけが出来る為、とても良かった。
- ・看取りの取り組みについて知ることができた。
- ・すばらしい事例で感動しました。
- ・DVDの映像はとても良かった。映像で残し見ることも意識を高める意味で良いことだと思う。素晴らしい仕事をしています。
- ・これから看取りを初めて行く施設の取り組みがわかって良かった。

7その他感想やご意見などお願い致します

- ・看取りに至る支援はしていたが、障がい方面で法人が看取りをしていないため。
- ・看取りは家族が望んでいる姿に見えます。その家族が看取りを迎えられるよう、やり方を教えてあげる事が必要なかもしれません。今後の課題にします。
- ・他職種の色々な考え、苦労が聞くことができて良かったです。これからぜひ連携させて頂きたいと思いました。
- ・他施設の看取り実践等を聞いてみたい。
- ・よくなるリハビリテーションには限界があると感じている。生きるその先には必ず終末期があるため、自分がどのように開かれることが出来るか考えていました。(特に最後まで食べられること、STの役割も考えていきたい)
- ・看取ることの準備や気持ちの持ち方など、とても参考になりました。また、参加したいです。
- ・自身が経験したことない内容で新たな視点を獲得することができた。事例が詳細まで含まれており勉強になった。これからは事例があると勉強になります。
- ・どの職種でも参加しやすく、また興味あるテーマだったと思います。現場のこのような取り組みは大変貴重な経験で家で、人間としても成長できる体験だと思います。スタッフ全員との意思統一、管理者の心配りが素晴らしいです。

7その他感想やご意見などお願い致します

- ・最期まで食べられる、人として人らしくなれる事の尊さはとてもすごいことだと思います。
- ・実践報告はわかりやすく良かった。
- ・看取りを行うことで介護職員の成長にもつながると思った。また、やり遂げた達成感が職員の自信につながるのでは。各種職種連携があれば看取り可能であり、その人の人生にかかわれるのだと思いました。
- ・毎日のごはんが美味しいと思えて食べられること、自分の足でトイレへ行くを利用者さんへ伝えてできれば、死をふつうの会話の中に笑いながら話せるムードができればいいながら仕事させて頂いてる。
- ・前頭側頭型認知症の方の反社会行動などの事例。

【担当幹事】 大杉直美

【定例会の Take Home Message】

人生を自分らしく生き抜くための『終の棲家』としての施設が、地域と連携しより良い看取りを実践していけるよう、また介護職員への教育や待遇、報酬についても検討していくきっかけにしたい

【タイムライン】

18：30～開演・参加者自己紹介

18：45～講演「介護施設におけるこれからの展望」

講師：西いぶり在宅ケア連絡会 会長 草場鉄周

19：15～「実践報告」

地域密着型特別養護老人ホームふなみの杜 波方 元希氏

医療法人社団グループホームしずく 洲崎 美恵子氏

19：50～グループディスカッション

20：20～全体発表 総括、アンケート・意見回収

20：30～閉会

【報告者からのまとめ】

今回の定例会は「介護施設での看取りとこれからの展望」と題し、西いぶり在宅ケア連絡会会長の草場鉄周による「日本の医療課題と在宅医療 そして、施設での看取り」の講演から始まりました。草場会長はその中でプライマリ・ケアについて講演し、身近な地域医療では患者さんや利用者さんの個別性を重視したケアが必要である事を強調し、その中で地域包括ケアでは地域医療・福祉・介護・保健のネットワークが大切であり、それぞれの専門家で連携していくことにより、地域で安心して暮らしていけるのだと話されました。次の「実践報告」では、終末期医療で選択を迫られる、「医療機関にするか、施設で過ごすのか、それとも居宅にするのか」の課題に対し、地域密着型特別養護老人ホームふなみの杜 波方元希氏 と 医療法人社団グループホームしずく 洲崎美恵子氏をお迎えし、実践報告をして頂きました。それぞれの施設での看取りは、職員の不安への対策、本人・家族・職員達の思いや覚悟などの貴重な報告を聞くことができました。その中でも最後まで口から食べられるようにと皆で

口腔ケアを頑張り、最後まで実践していた姿には関わりの素晴らしさを強く感じました。今回は多くの方が参加してくれた定例会でした。今回の定例会を通して、それぞれの施設での看取りについては、施設の体制や職員の不安等から取り組むことに対して大きな壁があるのが地域の現状として見受けられました。しかし、このような実践報告を聴き、意見交換等をする事で看取りへの取り組みを行うきっかけになって頂ければと思います。

第56回 西いぶり在宅ケア連絡会

テーマ

「栄養の視点から関わりを考える」

日時:5月15日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:500円(軽食代含む)



 **西いぶり在宅ケア連絡会**
~職種を超えた協働でより良い地域を目指して~

<内 容>

18:30~ 開会・連絡会説明・参加者自己紹介

18:45~ 講演「低栄養について高齢者の方々への関わり方」

講師:社会福祉法人 室蘭天照福祉会

軽費老人ホーム 管理栄養士 原田 雅彦氏

19:45~ グループワーク

20:15~ グループワーク・共有

20:25~ まとめ、アンケート・意見回収

20:30 閉会



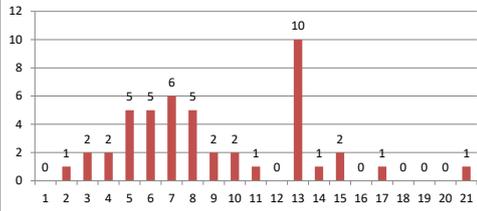
今月のポイント!

高齢者の方々と関わる上で、身体などの部分について考える機会が多いが、栄養の視点から見ていくことが少ない傾向にある。今回は、栄養の重要性を改めて学び、栄養の視点から、高齢者との関わり方についてグループワークを行う。

【後援団体】

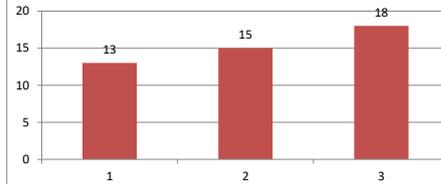
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

1参加された方は(複数回答可)



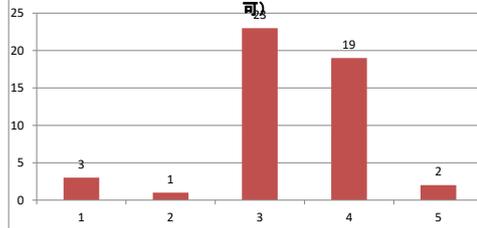
- ①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫.PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談員 ⑱. 柔道整復師 ⑲. 福祉用具 ⑳. 医事関係者 ㉑. その他

2今回は何回目の定例会参加になるでしょうか?



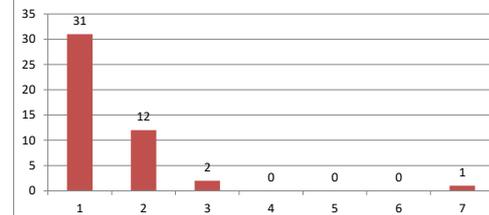
- ①. 初めての参加 ②. 2~5回目位 ③. それ以上

3在宅ケア連絡会をどのように知りましたか(複数回答可)



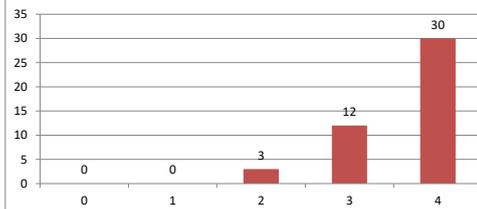
- ①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場
④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他()

4今日はどちらからきましたか?



- ①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 壮瞥町
⑥. 豊浦町 ⑦. その他()

5全体のテーマ設定について

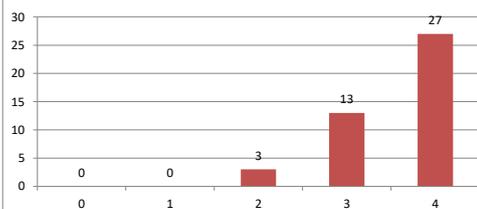


悪い0 ⇒ 4良い

5全体のテーマ設定について(コメント)

- ・職業柄、病気ありきの食事しか考えていませんでした。
- ・予防のため健康のための食事の大切さがわかりました。
- ・水分摂取のイラスト、高齢者の方も理解しやすくサロン等で伝えることができます。
- ・食事や補助食品について具体的な勉強会の内容で良かったです。
- ・普段接しない内容のことで新しかった少量しか食べれない人たちにもより栄養価の高い補助食品を利用して調理に取り入れるのは便利だと思いました。
- ・低栄養の問題は身近にあるので興味のある物でした。

6事例提示・実技の内容について

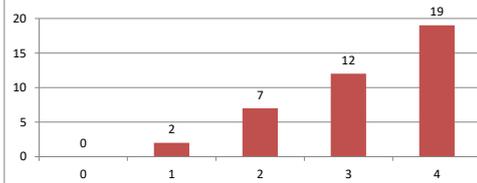


悪い0 ⇒ 4良い

6講演の内容について(コメント)

- ・実際に味わってみないと人に勧めることができないので実物があるのは良かったです。
- ・意外としっかりとした味付けパンフレットが参考になりました。
- ・実食ができてとても参考になりました。
- ・配食サービス、補助食品の実食は貴重な体験で良かったです。
- ・実際に配食サービスを実食出来たので貴重な経験でした。原田さんのお話はとてもわかりやすかったです。

7グループディスカッションのテーマについて



7グループディスカッションのテーマについて(コメント)

- ・おいしくいただきました、食費とカロリーの兼ね合いが気になりました。実食した感想や問題点となるだろうと思われる点など様々な意見が聞け良かったです。

8その他感想やご意見などお願い致します

- ・初めての試食会でした。良い経験ができました。
- ・栄養士の話はとても勉強になりました。自分自身の食生活を見直すきっかけになりました。食事にかかる費用のことも気になります。年金や生活保護についてのテーマで開催してもよいかと思います。
- ・市政を絡めて欲しい。消費者被害についての事例 大変ためになりました。ポジショニング介助について
- ・今回とても勉強になることが多かったです。職場に戻って取り入れられることがあり、参加して良かったです。

【担当幹事】 三浦 守

【今回の目的】

高齢者の方々に関する上で、段々と食欲が落ちて低栄養になってくる人は少なくない。低栄養になると元気までなくなってしまう。低栄養にならない為にはどうしたら良いか？また、低栄養になった場合、現在どのような食事があるのか？今回はこれらの事を、実食を交えながら意見交換をしてもらう。

【定例会の Take Home Message】

「栄養と口腔の視点から関り方を見直そう。」

【タイムライン】

18：30～開演・参加者自己紹介

18：45～講演「低栄養について高齢者の方々への関り方。」

軽費老人ホーム 管理栄養士 原田 正彦氏

19：45～流動食 高栄養食 やわらか食 とろみ食 配食弁当の

実食と説明 意見交換

20：20～全体発表 共有

20：25～総括、アンケート・意見回収

20：30～閉会

【参加者からの声】

- ・予防の為、健康の為の食事の大切さが分かりました。
- ・普段接しない内容で新しかった。
- ・少量しか食べられない人達にも栄養補助食品を利用して調理に取り入れるのは便利だと思いました。
- ・身近にある問題で興味のあるものでした。
 - ・初めての試食会で良い経験が出来ました。

- ・栄養士の話はとても勉強になりました。自分自身の食生活を見直すきっかけになりました。
- ・今回とても勉強になる事が多かったです。職場に戻って取り入れられる事があり、参加して良かったです。

<配食弁当を実食した感想>

- ・以外としっかりとした味付け。パンフレットが参考になりました。
- ・配食サービス補助食品の実食は貴重な体験でした。
- ・実際に味わってみないと人に勧める事が出来ないので実物があるのは良かったです。
- ・おいしくいただきました。食費とカロリーの兼ね合いが気になりました。実食した感想や問題点となるだろうと思われる点等が聞けて良かったです。

【報告者からのまとめ】

講演では、原田氏の職場での実体験を交えながら、食事による栄養補給の大切さや低栄養状態の説明、高齢者の特徴等についてお話頂いた。高齢者の特徴では、身体的・精神的な小さなきっかけで食欲がなくなり、低栄養状態になってしまう事、実際に低栄養状態になっていても「ちゃんと食べているから大丈夫」とその状態に気付けない事、「そんなことは絶対あり得ない」とその状況を理解して貰えない事がある。そして、低栄養の予防と食生活のポイントを分かりやすくご説明頂いた。今回はさらに、早速作りたくなる簡単レシピの紹介もして頂いた。

公演後の実食タイムでは、高栄養食や柔らか食、配食のお弁当等を食し、グループディスカッションへ移行した。グループ内の意見交換や感想では、「一人暮らしだと一度に沢山の物を作って何日も同じ物を食べてしまう。こんな時に、配食や通所サービスは助かる」や「お金がある人はこれらの食事の購入が出来るがお金のない人の場合はどうしたら良いかを考えてみたい」、「災害時には乾パンなど嚙下障害のある人は大変。こういった食品を非常食として蓄えて置くことも一つの手」、「配食弁当の内容を選べる所があれば教えて欲しい」など、実食を通して様々な意見や質問が聞けた会となった。今回、62名と多くの方々の参加を得られた。背景として、管理栄養士の原田さんの呼びかけにより、栄養士の方々の参加がいつも以上に得られた。また、薬剤師の方々の参加が一番多い結果になっている。アンケートにもあるように、普段接しない新しい内容であった事や「食事」という全ての人に当てはまる内容であった事も要因と考える。

第57回 西いぶり在宅ケア連絡会

テーマ

「おいしく食べられる口作り
～おいしく・たのしく・美しく!～」

日時:6月19日(月) 18:30～20:30

受付:18:00～ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:500円(軽食代含む)



*手鏡をお持ちの方はご持参ください。

 西いぶり在宅ケア連絡会

～職種を超えた協働でより良い地域を目指して～

<内容>

18:30～ 開会・連絡会説明・参加者自己紹介

18:45～ 講演「摂食・嚥下障害について。」

講師:御前水歯科クリニック 岩川 直義院長

19:05～ 「口腔ケアの重要性について。」

講師:伊藤歯科医院 伊藤 百香歯科衛生士

19:20～ 口腔ケアの実技

嶋津歯科医院 柿山 明美歯科衛生士

19:55～ グループワーク

20:15～ 発表

20:25～ まとめ、アンケート・意見回収

20:30 閉会



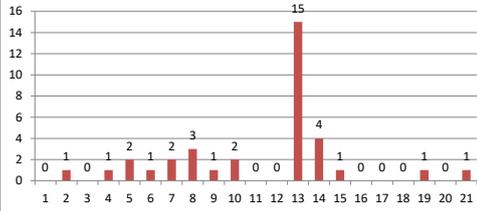
今月のポイント!

栄養・口腔ケアシリーズ2回目。物を美味しく食べ続けるには、摂食・嚥下障害・口腔ケアについての講演から必要性を見つめ直し、実際に実技を通して理解と重要性を深める。

【後援団体】

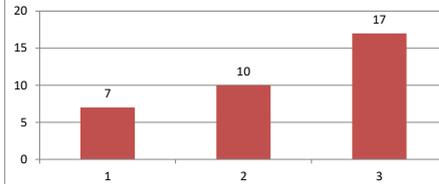
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

1参加された方は(複数回答可)



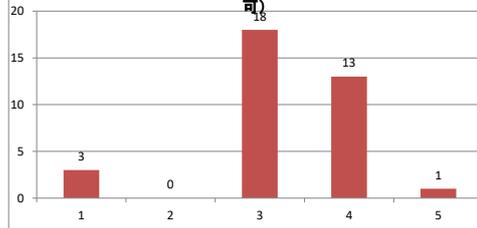
- ①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫. PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談員 ⑱. 柔道整復師 ⑲. 福祉用具 ⑳. 医事関係者 ㉑. その他

2今回は何回目の定例会参加になるでしょうか?



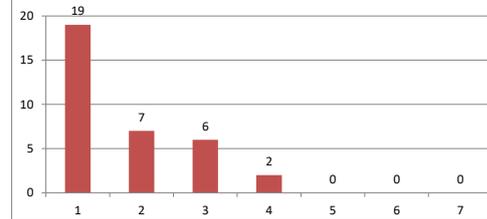
- ①. 初めての参加 ②. 2~5回目位 ③. それ以上

3在宅ケア連絡会をどのように知りましたか(複数回答可)



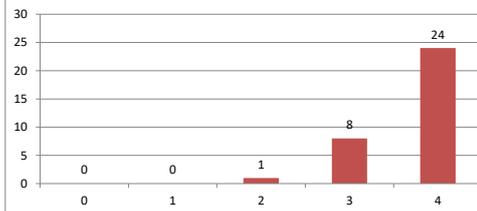
- ①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場
④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他()

4今日はどちらからきましたか?



- ①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 牡管町
⑥. 豊浦町 ⑦. その他()

5全体のテーマ設定について

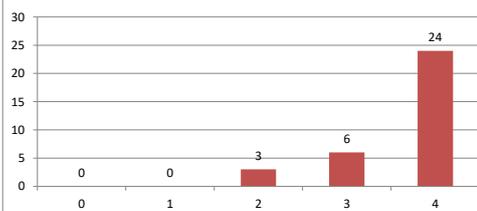


悪い0 ⇒ 4良い

5全体のテーマ設定について(コメント)

- ・普段教えていなかったので良い機会だった。
- ・普段接することのない知見だったのでためになった
- ・あまり気にした事のないテーマだったので新しい気づきになった。
- ・自分の職種ではなかなか口腔内のことについて知ることがないので今回知ることが出来て良かったです。

6事例提示・実技の内容について

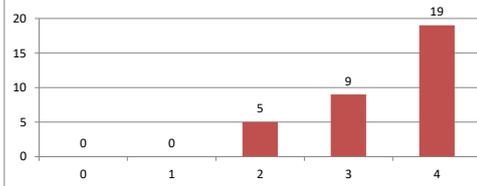


悪い0 ⇒ 4良い

6講演の内容について(コメント)

- ・手技の難しさ、受ける側の立場、ともにわかって良かった。
- ・男女で組んでやるのに抵抗がある。実際にやってみることができて良かったです。
- ・普段実際に口腔ケアをすることがないのでされる側の感覚がわかって良かったです。

7グループディスカッションのテーマについて



7グループディスカッションのテーマについて(コメント)

- ・難しかったが、教える必要のあるテーマだった。
- ・漠然としていて難しい。
- ・色々な職種の方の意見が聞くことが出来て勉強になった。
- ・楽しかったです。
- ・少し内容をまとめるのが難しいと思いました。

8その他感想やご意見などお願いします

- ・なんでそんなに高齢者は薬を飲むのか?
- ・栄養士として、口腔ケアについて知ることが出来てよかったです。食事だけでなく口腔ケアについても知り患者さんに伝えられるようにしていきたいです。
- ・それぞれの職種が違う職種に求めることを知りたい。本日のGWで歯科衛生士さんに「口腔環境が悪いのは薬が原因であることが多い」ということを伺い、交友情報をもっと共有したいと思いました。

【担当幹事】 三浦 守

【今回の目的】

物を美味しく食べ続ける為に、摂食・嚥下障害・口腔ケアについて講演から必要性を見つめ直し、実際に実技を通し理解と重要性を深める。

【定例会の Take Home Message】

「栄養と口腔の視点から関り方を見直そう」

【タイムライン】

18：30～ 開会・参加者自己紹介

18：35～ 講演「摂食・嚥下障害について。」
御前水歯科クリニック 岩川 直義院長

18：55～ 講演「口腔ケアの重要性について。」
伊藤歯科医院 伊藤 百香歯科衛生士

19：05～ 口腔ケアの実技
嶋津歯科医院 柿山 明美歯科衛生士

19：45～ グループワーク
「終末期における歯科治療が必要な方について
あなたならどう考えますか？」

20：15～ 全体発表 共有 総括

20：30 閉会

【参加者からの声】

<講演>

- ・ 普段あまり気にしていなかった部分が多く、新しい気付きになった。
- ・ 自分の職種では、なかなか口腔について知る事がないので良い機会だった。

<実技>

- ・ 実際にやってみる事が出来てよかった。
- ・ ケアされる側の気持ちがわかって良かった。
- ・ 難しさや受ける側の気持ちがわかって良かった。

<グループワーク>

- ・あくまで本人の意思、意向に合わせる事が大切であると思えた。
- ・他職種の見解が聞けて良かった。
- ・テーマは難しいけど考える必要のある内容だと思いました。
- ・家族がどこまで望んでいて、どこまでして欲しいかも重要。
- ・簡単には決められない。
- ・あえてしないという選択もある等を知った。

<その他>

歯科衛生士さんに口腔環境は薬も影響があると言う事を知った。
普段接する事の無いテーマだったので参考になりました。

【報告者からのまとめ】

講演では、摂食嚥下に関わる5つのステージとその時に確認すべきポイントなどをご説明頂き、歯科衛生士の伊藤氏からは口腔ケアの重要性と実際のケアによる効果や変化等、写真を多く用いながらご説明頂いた。講演後には嶋津歯科医院の歯科衛生士 柿山氏に口腔ケアの実技をご指導頂いた。口腔ケアの実技では二人一組になり、する側・される側を体験した。実際の行った感想としては、ケアのポイントをおさえないとされる側が不快になる事や私達が受けても口腔ケアは気持ちの良い事であるとの意見が上がっていた。

グループワークでは、「終末期における歯科診療が必要な方についてあなたならどう考えますか？」をテーマにディスカッションを行った。歯科治療についての意見では、「本人や家族の意志を尊重しながら進めて、時にはやらない判断も必要」や「本人のこうむるメリット・デメリットをよく考えて判断していく」、「治療なら無理にやらなくてもいい・痛みが歯にないならやらなくても良いのでは」などの意見が出ていた。口腔ケアについては、「実技の中で気持ち良かったので、やった方がいいと思う」や「誤嚥性肺炎の予防としてもやる価値はある」など、実技で感じた経験からもやった方が良くとの意見が多く挙がっていた。歯科医師の岩川先生はまとめの中で「連携が特に重要であり、このような場を通じた顔の見える関係づくりが、これからも大切になると思っています」とチームでのケアの大切さを伝え、実技とチームケアの大切さを皆で共有した定例会となった。

今回も多くの方々に参加して頂いた。参考になりましたとの意見が多く、実りのある定例会であったと考える。また、参加職種を見てみると、増えている職種がある一方で減っている職種もあるのが今後の課題と考える。

第58回 西いぶり在宅ケア連絡会

テーマ 「日本人はなぜお風呂にこだわる。」

日時:7月24日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:500円(軽食代含む)



*手鏡をお持ちの方はご持参ください。

 西いぶり在宅ケア連絡会

~職種を超えた協働でより良い地域を目指して~

<内容>

18:30~ 開会・連絡会説明・参加者自己紹介

18:45~ 「訪問入浴とは？」訪問入浴の実態

北日本営業グループ 村上 栄子 氏

~入浴方法や入浴機材、浴槽への移動方法の実演~

19:45~ グループワーク

テーマ「終末期における訪問入浴」

20:10~ 発表

20:25~ 総評、アンケート・意見回収

20:30 閉会



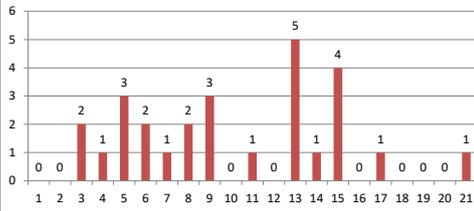
今月のポイント!

栄養・口腔ケアシリーズ2回目。物を美味しく食べ続けるには、摂食・嚥下障害・口腔ケアについての講演から必要性を見つめ直し、実際に実技を通して理解と重要性を深める。

【後援団体】

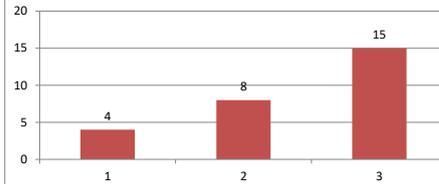
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

1参加された方は(複数回答可)



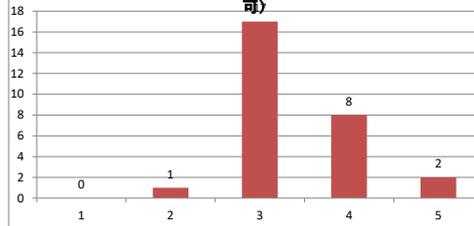
- ①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫.PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談員 ⑱. 柔道整復師 ⑲. 福祉用具 ⑳. 医事関係者 ㉑. その他

2今回は何回目の定例会参加になるでしょうか？



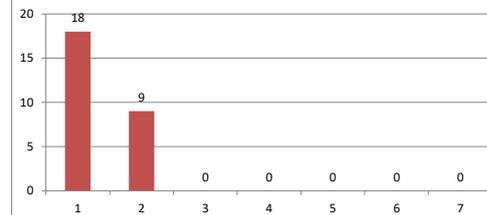
- ①. 初めての参加 ②. 2~5回目位 ③. それ以上

3在宅ケア連絡会をどのように知りましたか(複数回答可)



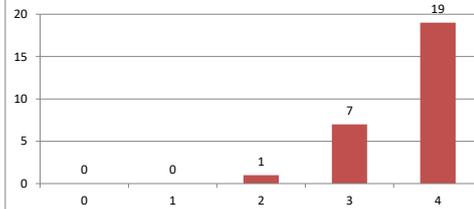
- ①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場
④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他()

4今日はどちらからきましたか？



- ①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 牡管町
⑥. 豊浦町 ⑦. その他()

5全体のテーマ設定について

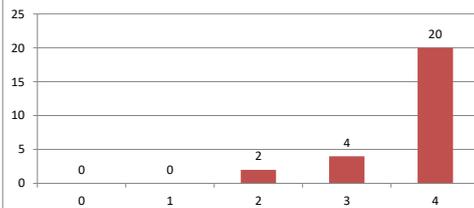


悪い0 ⇒ 4良い

5全体のテーマ設定について(コメント)

- ・訪問入浴サービスの存在自体知らなかったので今回のテーマはとても勉強になりました。
- ・入浴の意義
- ・最初はPRかと思ったが知らない事も聞けて良かった。

6事例提示・実技の内容について

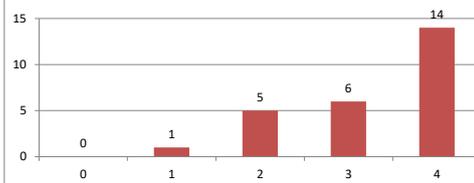


悪い0 ⇒ 4良い

6講演の内容について(コメント)

- ・実際に入浴の仕方の実演をして頂いて、自分の目で見れたことが新鮮でした。
- ・お湯が出ないのは残念だったが在宅を支えるサービスの1つとして勉強になった。
- ・実演は面白かった。2個は不要である。誤字は修正した方がよい。
- ・リアルで良かった。実際にお湯を入れてるのを実演で見れると思っていました。

7グループディスカッションのテーマについて



7グループディスカッションのテーマについて(コメント)

- ・事例は1つに絞った方がよいと思います。
- ・時間が少し短い。
- ・時間が短く深みのあるディスカッションにならなかった。
- ・いろいろな業種の方との意見が聞けて良かった。
- ・本日のテーマと少しリンクしていない、日本人の「入浴へのこだわり」について話を膨らませたほうが良かったのでは。

8その他感想やご意見など

- ・訪問入浴の概要について説明頂き大変参考になった。
- ・褥瘡について勉強したいです。
- ・軽食にがっかりした。
- ・時間内でお願いします。
- ・軽食はおにぎりかパンが良かったです。テーマは排泄の介助とコミュニケーション

【担当幹事】 三浦 守

【今回の目的】

さまざまな病気を抱え、治療を受け、食事を取る事と一緒にお風呂に入ることがなぜ日本人はこだわるのかを訪問入浴を通して知る。

【定例会の Take Home Message】

「訪問入浴を通じて入浴文化を知る」

【タイムライン】

18：30～ 開会・参加者自己紹介

18：45～ 講演「訪問入浴とは？」

アースサポート（株）北日本営業グループ 村上 栄子氏
～入浴方法や入浴機材、浴槽への移動方法の実演～

19：45～ グループワーク

「終末期における訪問入浴」

20：15～ 全体発表 共有 総括

20：30 閉会

【参加者からの声】

<講演・実技>

- ・存在を知らなかったのでとても勉強になった。
- ・目で実際に見れて新鮮だった。
- ・知らない事や、疑問に思うことが聞けて良かった。
- ・サービスの一つとして勉強になった。

<グループディスカッション>

- ・時間が少し短い。
- ・時間が短く深みのあるディスカッションが出来なかった。
- ・色んな業種の人と意見交換が出来て良かった。

<その他>

- ・訪問入浴の概要について説明が聞けてとても参考になりました。
- ・実技にてお湯がでないのが残念。
- ・リアルで良かった。お湯を入れての実演が見たいです。

【報告者からのまとめ】

今回は今までと比べて介護福祉士の方々が多く集まって頂いた。普段、直接見る事が無い訪問入浴の実演では、幹事や講演者の想像より沢山の質問を頂けたのが良かった。利用者様がより快適に入浴できるように、細かな気配りや工夫など、スタッフのおもてなしの精神が伝わる内容であった。次回、もし機会があればお湯を入れての実際の入浴を見られるよう調整したい。

第59回 西いぶり在宅ケア連絡会 第3回伊達市多職種勉強会

テーマ 「多職種の協力と細やかな連携」

日時:11月20日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:だて歴史の杜カルチャーセンター 講堂

伊達市松ヶ枝町34番地 ☎0144-22-1515

参加費: 無料

<内容>

18:30~18:35 開会あいさつ(岡本先生より)

18:35~18:45 症例提示①

18:45~19:00 グループワーク①

19:00~19:10 症例提示②

19:10~19:25 グループワーク②

19:25~19:35 症例提示③

19:35~19:50 グループワーク③

19:50~20:00 シェアリングタイム

20:00~20:05 発表

20:05~20:15 まとめ その他 閉会



西いぶり在宅ケア連絡会

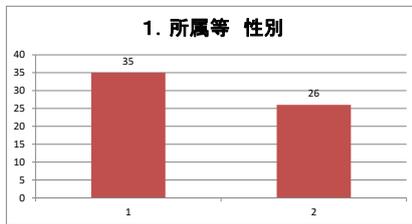


今月のポイント！ 伊達市多職種勉強会との共催！

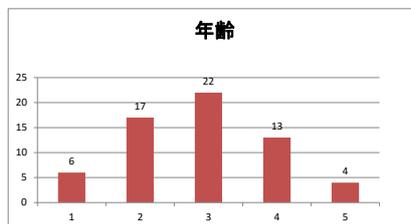
介護力の不足と不安を乗り越えて最後まで在宅支援できたケースについて事例検討を行います。末期がんの患者の対応は刻一刻と変化するため様々なサービスの選択が迫られます。ご自宅で最期まで暮らしたいという本人の希望を叶えるため、皆さんが専門職として何ができるか、またどうしたらよいのか、多職種で話し合しましょう。

【後援団体】

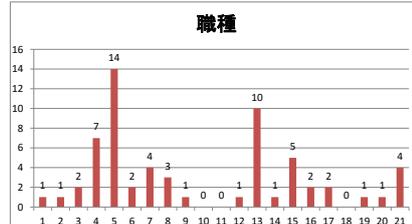
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部



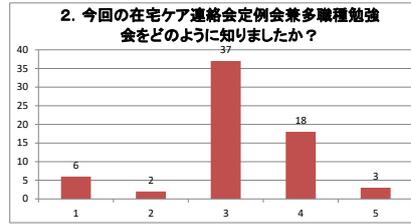
①男性 ②女性



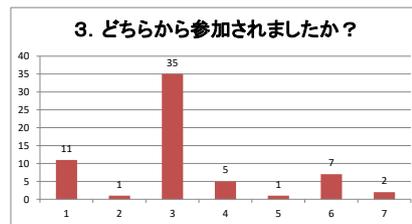
① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代以上



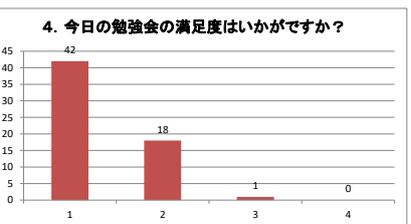
① 医師 ② 歯科医師 ③ 保健師 ④ 看護師 ⑤ ケアマネジャー ⑥ 社会福祉士 ⑦ 栄養士 ⑧ PT ⑨ OT ⑩ ST ⑪ MSW ⑫ PSW ⑬ 薬剤師 ⑭ 歯科衛生士 ⑮ 介護福祉士 ⑯ ヘルパー ⑰ 生活相談員 ⑱ 柔道整復師 ⑲ 福祉用具相談員 ⑳ 医事関係者 ㉑ その他



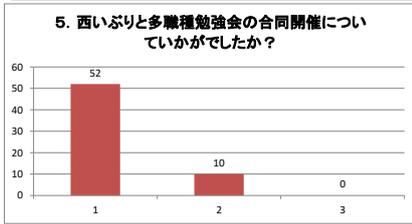
① 病院・施設・事業所の広報ポスター ② 知人・友人 ③ 職場 ④ 所属している職能団体からの連絡 ⑤ その他()



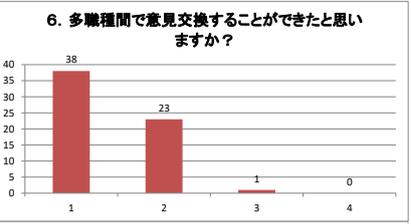
① 室蘭市 ② 登別市 ③ 伊達市 ④ 洞爺湖町 ⑤ 杜町 ⑥ 豊浦町 ⑦ その他()



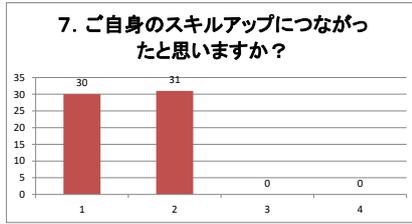
① とても満足 ② 満足 ③ やや不満 ④ とても不満



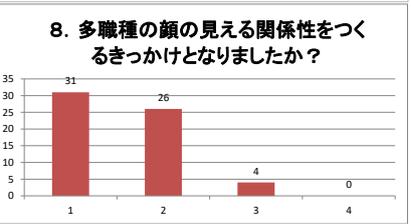
① よかった ② ふつう ③ あまりよくなかった



① とても思う ② 思う ③ あまり思わない ④ 思わない



① とても思う ② 思う ③ あまり思わない ④ 思わない



① とてもなった ② なった ③ あまりならなかった ④ ならなかった

8その他感想やご意見など

- 参加者の知りたい事をリサーチできるとよりよいのでは？
- コンパしましょう。
- 多職種の方とのグループワークは勉強になった。食事の摂取困難、ムセの問題に歯科への相談がなかったこと、ST介入による口腔内清潔→衛生士として残念！口腔内のDHとしてのプロケアもあることを知って欲しい。
- 折角最初に職種を記入するならば、グループへの振り分けも出来ると良いのでは？と思います。CM、Ns、P・O・ST、介護、その他いろいろにカテゴリ分けしてく引きとか運営上大変そうですね。すみません。運良く多職種多くなりましたが、他グループは偏らなかつたのでしょうか？
- 自己紹介がなかったでテーブルお一人お一人の職種がわからずでしたが皆さん一つ一つ丁寧に考え、軸を持っている方で良かったです。又参加します。
- 遅れてきてしまいましたが、他の職種の方の意見が聞けてとても良かったです。
- 岡本先生、身体を大切に頑張って下さい。
- 事例の内容がわかりやすかったです。
- 今持っている利用者が肝がん、甲状腺がんの方がいます。デイケアに以前

8その他感想やご意見など

- 様々な職種の立場、目録での意見を最後に聞くことができ、参考になりました。
- 薬剤師としてはなかなか介入する場面が少なく、管理指導算定してなくても、もっとコミュニケーションをとれると良かったと思う。グループワークに慣れでなかなか積極的に参加できなかった。
- お金のない人の看取り事例を学んでみたいです。
- 自己紹介する時間があると良いと思う。
- 事例を提供して下さったケアマネさんにすばらしいマネジメントだったと思います。とお伝えください。こういったケースには正確も間違いもないと思いません。その時その時に心を込めて対応していくことが全てだと思います。よい事例で検討できたと思います。
- クジなどでグループ分けをした方が色々な意見交換できるかな？生活行為マネジメントでは在宅復帰がゴールではなくそこで何をしたいのか
- 多職種のそれぞれの支店からの発表は良いと思いました。
- とても充実した時間でした。
- 在宅でのみとを支援する際には迅速な対応が必要であり、それには顔の見える関係性が大事なので、この勉強会の大切さを改めて知る事ができました。

8その他感想やご意見など

- 薬局に栄養士さんがいることを知れた(室蘭市内)在宅対応の中で各事業所の柔軟な対応を求められることを再認識できた。
- すごく聞きやすく内容が入ってきやすかったです。また、在宅においてリハの方やケアマネの方の意見を聞くことができとても良い機会となった。
- 吉田久美さんの話し方、とても聞きやすかったです。元放送部かと思いました。
- いい研修だったと思います。事例を振り返り、ケアや連携を考えることが久しぶりに出来たと思います。担当の皆さまお疲れ様でした。

【担当幹事】 篠原 歩

【共催】 第3回伊達市多職種勉強会

【今回の目的】

末期がんの患者の対応は、刻一刻と変化するため様々なサービスの選択が迫られる。そんな中、自宅で最期まで暮らしたいという本人の希望を叶えるため、専門職として何ができるのか、どのように対応すべきかを多職種でグループワークを行い、介護力の不足と不安を乗り越えて最期まで支援できたケースについて事例検討を行う。

【タイムライン】

18：30～ 開会あいさつ（岡本先生より）

18：35～ 症例提示①

社会福祉法人思誠会 ケアプランセンターセントヒルズ

介護支援専門員 吉田 久美 氏

「介護力の不足と不安を乗り越えて、患者自ら設計した思い入れのある家で、最期まで在宅支援できたケース」

18：45～ グループワーク①

19：00～ 症例提示②

19：10～ グループワーク②

19：25～ 症例提示③

19：35～ グループワーク③

19：50～ シャアリングタイム

20：00～ 発表

20：05～ まとめ その他 閉会

【参加者からの声】

- ・多職種の方とのグループワークは勉強になった。食事摂取困難、むせの問題に歯科への相談やSTの介入による口腔内清掃の必要も考えられた。
- ・事例を振り返り、ケアや連携を考えることができたと思う。
- ・在宅におけるリハやケアマネの方の意見を聴くことができとても良い機会となった。

- ・在宅看取りを支援するには迅速な対応が必要であり、そこには顔の見える関係が大事なので、勉強会の大切さを改めて知ることができた。
- ・薬局に栄養士がいるところがあると知り、ビックリした。
- ・生活行為マネジメントでは、在宅復帰がゴールではなく、そこで何をしたいかを重要視する必要があることを知ることができた。

【報告者からのまとめ】

当日の会場準備は、伊達市多職種勉強会の事務局の方の協力もありスムーズに行えた。アンケート結果からも非常に好評をいただいたが、一部グループ内の職種の分け方や自己紹介をしたほうが良かったなどの声もあり、次年度開催での参考としていきたい。

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団



在宅ケアフェスティバル

「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に。

（企画趣旨）

私たちは学びながら地域の在宅ケアを推進してゆくことを目的とした団体です。この度、在宅ケアについて一般市民の皆様幅広く知って頂く機会として『楽しみながら』『誰でも』『気軽に参加できる』内容でのフェスティバルを企画しました。皆さんとともに知識を学び、理解を広めたいと考えております。

どうぞお気軽にご参加ください！

日時

平成29年 10月28日(土)

10:00~15:00

場所

MORUE 中島 A 棟

北側入口メイン通路内

住所：室蘭市中島本町 1-4-4

問い合わせ

西いぶり在宅ケア連絡会事務局

本輪西ファミリークリニック（担当：中田・古里）

〒050-0065 室蘭市本輪西町3丁目36-9

☎ 0143-55-1212

イベントブース紹介（参加無料）

1. いつまでも健康でいたい！
健康チェックブース

医師・看護師・薬剤師により健康チェックが受けられます！今年あなたの嗅覚レベルを調べます。

2. いつまでもおいしく食べる！
食事とお口の健康チェックブース

介護食の試食や飲み込み、お口の衛生について考えてみませんか。

3. 早くから取り組む！
介護予防ブース

介護予防体操、体力測定、かんたん物忘れ検査をご紹介します！

4. 困ったらまずは相談！
医療福祉・介護相談ブース

ソーシャルワーカー・ケアマネジャーが相談対応いたします。

<協力団体>

室蘭市医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、室蘭市地域包括支援センター、登別市地域包括支援センター、伊達市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道社会福祉士会日胆地区支部、北海道介護福祉士会日胆支部

西いぶり在宅ケア連絡会 2017 在宅ケアフェスティバル

実施報告書

【日時】平成 29 年 10 月 28 日(土)10:00~15:00

【場所】MORUE 中島 A 棟 北側入り口メイン通路内

住所:室蘭市中島本町 1-4-4

【参加スタッフ】

介護予防ブース11名、食事と健康ブース13名、健康チェックブース11名、なんでも相談ブース11名

<各ブースの内容>

- ・介護予防ブース・・・無料パンフレット設置(認知症予防・塗り絵、計算、漢字の読み書き等・介護予防のクリーニングシート・認知症家族会やサロン等)、認知症検査(長谷川式簡易スケール)、体力測定(理学療法士)、脳力チェック(長谷川式簡易知能スケールの実施)
- ・食事と健康ブース・・・無料パンフレット設置、介護職の試食、食べる姿勢の体験コーナー、歯ブラシフィッティング(歯科衛生士による歯ブラシソムリエ)
- ・健康チェックコーナー・・・禁煙相談・呼気検査(一酸化炭素濃度検査)、看護師による相談コーナー、薬剤師による相談コーナー、嗅覚識別テスト
- ・なんでも相談コーナー・・・SW、介護支援専門員によるなんでも相談

【参加者】全体参加者 110名、アンケート回答者 52名

【参加スタッフからの感想】

今年も、医師・看護師・薬剤師による健康チェックブース。理学療法士・作業療法士による体力測定、介護予防体操、もの忘れ検査ブース。歯科衛生士・栄養士・言語聴覚士による介護食の試食、噛む力チェック、お口の健康ブース。ソーシャルワーカー・ケアマネジャーによる医療福祉、介護相談ブースを開設し、来てくれた方がそれぞれのブースで楽しみながら在宅医療について理解を深めてもらう事が出来ました。参加者からは、「勉強になりました」、「こういう検査を受けた事がないから新鮮」、「時々やってくれと良いね」など、参加できて良かったとの意見を多く頂きました。お口の健康ブースでは、口腔機能チェックシートや噛む力を判定するガムを使用し口腔機能に合わせたお口の体操のアドバイスをとお口の健康相談を行い、皆様に大変喜んでいただきました。体力測定ブースでは、体力測定結果が実年齢よりも若く出る方が多く、結果に対しての喜びと同時に日頃の運動の成果などを確かめて行きました。我々運営スタッフとしても、参加者の皆様と共に楽しくフェスティバルを開催する事が出来ました。

【担当者総括】

2015年、2016年に引き続き、「在宅ケアフェスティバル」という形式で開催した。集客や利便性を考え室蘭市内の MORUE 中島で開催。幹事を中心に各ブースのリーダーを担って頂き、内容についても工夫されたイベント

となった。同イベントとしては3年連続の開催となり、『誰でも』『気軽に参加できる』をコンセプトとしたイベントが開催できたと考える。

集客については、110名の来場者があり多くの方に参加して頂けた。やはり会場となるMORUE 中島が、一定の集客が見込める場所だったことが一番の要因で、集客には開催場所の選定が大きく影響があることが改めて感じられた。

記載:市民フォーラム班 班長 竹内 亮平

【当日の写真】

